

第3回 法曹専攻 教育課程連携協議会 議事概要

1 実施日時及び実施会場

日 時 令和7年3月19日（水）16:30~18:00

2 出席者

（委員）山口卓男、難波孝一、伊藤茂昭、小松夏樹、直井義典（法曹専攻長）
（法曹専攻）大石和彦、姫野博昭、村山淳子、森田憲右、渡邊卓也、尾崎愛美、
日野辰哉、吉田大輔

3 議事

- （1）令和6年司法試験結果報告について
- （2）教育課程の編成について
- （3）令和7年度入学者選抜試験報告及び今後の入学試験実施に関する検討について
- （4）自己点検評価書（案）について
- （5）その他

4 議事概要

直井委員より、資料に基づき議題の趣旨について説明のうえ、意見交換を行った。
学外委員より、以下の意見があった。

- ・ 司法試験結果を、100未満の数値でパーセンテージ化することが有効か。評価数値目標によるものであることは理解できるが、別の評価指標の導入も検討が必要である。
- ・ 司法試験のCBT化に伴う対応は迅速に行うことが必要であり、導入に伴う課題の把握と対策の検討を進めてほしい。
- ・ 入学試験では、法曹にとって重要な「理論建て」を重視した試験問題を作成してほしい。
- ・ 認証評価に係る対応では、課題の具体化が重要であり、指摘事項のうち抽象的なものがあれば、迅速に具体化してほしい。